

## セキヤヒューム、防草型ブロック県道に試験施工 パーキングブロック、「幸せます」ブランド認定



防草型ブロックの試験施工

コンクリート2次製品開発  
発・製造のセキヤヒューム(株)  
(防府市江泊2544-1、  
資本金2,000万円、関谷  
匡宣社長)の開発製品、道路  
用防草タイプ「山口県型境界  
ブロック」と「基礎ブロック」  
が今秋、県道の改良工事に試  
験採用された。

同製品は、境界ブロックの  
張り出しの一部に突起をつ  
け、雑草を生えにくくしたの  
が特長。今春の製品化で、県  
リサイクル製品に認定された。  
施工箇所は、県が発注した  
周南市の一般県道勝間停車場  
線の歩道との境界部分約26  
㍍。施工業者は同製品を供給  
した。ほかに、柳井、小野田、  
岩国地域で、同製品を用いて  
の今年度内の工事が決まって  
いる。

同社の小松良平課長は、「県  
の試験施工で実績をつくり、  
本格的な受注につなげたい」  
と話す。

また、同社の製品「OK式  
パーキングブロック」に幸せ

ますプレートを貼り付けた  
「幸せます車止め」が11月、  
防府商工会議所の防府ブラン  
ド「幸せます」に認定された。  
反射板の反射面が非常に大  
きく夜間でもハッキリと認識  
されやすく、施工も簡単なの  
が特徴。OK式パーキングブ  
ロックは、JR新山口駅北口  
駐車場や商業施設、マンショ  
ンなどに用いられている。

同社では、今後、「幸せま  
す車止め」としても製造販売  
し、地元・防府市のPRに一  
役買っていくたいとしている。



出席した企業などの代表者

募金百貨店プロジェクト  
参加企業が情報交換、防長苑で

山口県共同募金会(山口市、  
大窪正行会長)は11月16日、  
同会が実施する「募金百貨店  
プロジェクト」の参加企業(団  
体)に参加を呼びかけ「情報  
交換会」を山口市の防長苑で  
開いた。企業同士が、近況や  
実績などを報告し合いプロ

ジェクトをさらに盛り上げよ  
うと企画した。

交換会には、22企業(団体)  
と関係者など約40人が参加。  
企業を代表して、同プロジェ  
クトの立ち上げ後、最初に参  
加した「仕出しのかとう」、  
参加企業の中で最高額の寄付  
を行った「(株)丸久」、会場を  
提供した「防長苑」の各代表  
が、取り組み内容を説明した。  
各企業の紹介などのあと、  
参加者が名刺交換や取り組み  
を紹介し合い、意見を交わし  
た。

大窪会長は、「募金額が減  
少する一方で、子どもの貧困  
や老々介護などで募金への  
ニーズは高まる。交換会を機  
に、募金百貨店プロジェクト  
の仕組みの周知などで、さら  
に参加企業を増やしたい」と  
話した。

同プロジェクトは、平成24  
年4月に、全国に先駆けてス  
タート。参加企業は、110  
社、寄付総額が2,000万  
円を超えた。

NTTドコモ、教育用タブレット  
防府の小中学校導入を支援

(株)NTTドコモ中国支社は  
11月1日、防府市が全小中学  
校に導入した「教育用タブ  
レット」の取り組みを支援す  
る。

集合研修による操作演習、  
授業での活用ワークショップ  
などで、教育用タブレットの  
有効的でスムーズな活用をサ  
ポートしていく。